

女子学生

## 交換留学報告書

留学が修了致しましたので、下記の通りご報告いたします。

記入日：西暦 2024年 7月 18日

事項	摘要		
留学先大学名・所在地	国名：大韓民国（韓国） 大学名（和名）：단국대학교（檀国大学） 所在地：京畿道龍仁市水司区竹田路 152		
留学先の学部・学科	音楽・芸術学部, ビジュアルコミュニケーションデザイン学科		
留学期間	2024年 2月から 2024年 6月まで。 1年間・ <u>1学期間</u> その他		
帰国年月日	2024年 7月 1日（飛行機到着日）		
渡航時点での学年	3		
卒業予定年	26年 3月		
留学費用概算	宿舍費	¥64,000	光熱費含む ※チュータリングの費用を引いた場合
	教材費	¥5,000	
	食費	¥60,000	自炊・外食・旅行時の食費1ヶ月平均
	海外保険費	¥50,545	
	渡航旅費	¥78,680	アジアナ航空
	渡航準備費	¥62,000	Simカード,結核検査,パスポート発行,必要書類 食べ物など
	合計	約 320,000 円	
滞在形態	滞在先形態：大学寮 <u>大学寮</u> ・キャンパス外のアパート・その他（ ）		
	部屋種類：相部屋（2人部屋） <input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋（2人部屋） 3人以上 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	滞在先名・所在地： 京畿道龍仁市水司区竹田路 152 ウンビホール		
	家賃月額（現地通貨）：₩565,000（四ヶ月間光熱費込の合計）		
	食費目安（現地通貨） カフェテリア：ドリンク₩5,500 ケーキ₩12,000 学生食堂：₩6,500 外食（レストラン等）：₩11,000		

通学方法 (キャンパス外の場合)	<input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 交通費：¥ ( ) ( <input type="checkbox"/> 片道 <input type="checkbox"/> 定期 <input type="checkbox"/> 往復)
奨学金	名称： 支給額： (約 ) 円
	名称： 支給額： (約 ) 円
海外保険	保険会社名：日本アイラック株式会社 保険料：¥50,545
渡航関連	渡航経路：往路 仙台空港～仁川空港 復路 仁川空港～仙台空港 所要時間：往路 2.5 時間、復路 2.5 時間 航空会社：アジアナ航空 費用：往路 46,730 円[変更費込]、復路 31,950 円、合計 78,680 円
予防接種・検査	予防接種名： 検査場所 費用： 検査名：結核検査 検査場所：予防福祉クリニック 費用：5,000 円
感想・アドバイス	<p>留学動機： 高校時代から大学在学中に留学をしたいという目標があった。 大学でコンピューターについて学んでいくうちに興味を持つようになったデザイン分野を、海外の大学で深く学習してみたいと思ったから。また、留学の経験を通してさまざまな国の人の価値観や文化に触れ、広い視野を持ってデザインに関わることのできる人材になりたいと思ったからである。高校生時代から学習していた韓国語のスキルを磨くと共に、自分のデザインスキルを向上させたいと思った。</p> <p>留学準備 (大変だったことなど)： 三年前期に留学するという事で、必修科目や単位認定、卒業研究など今後の大学生活の見通しを持って留学準備を進めていかなければならないため、常に先のことを考えながら準備に取り組む必要があった。また、校内募集から出願期間までの期間が短いため、前々からパスポート発行や願書などの準備を進めておく方が良い。TOPIK と中間試験、留学準備の時期が重なり、かなり余裕のない準備期間だった。韓国に留学する場合、TOPIK (韓国語能力試験) を受験することをお勧めする。試験結果で予め自分のレベルを知ることができ、履修登録やプログラムへの参加に役立つ。また、場合によっては政府や団体、学校からの奨学金も得られるため出願の半年・1年前から受験し留学準備をすることを勧めたい。</p> <p>留学先大学、寮、学生の雰囲気や設備について： 竹田キャンパスは、駅から少し距離はあるものの大学から出るバスが多いため移動手段には困らなかった。日本に比べて交通費が安価なため、遠い所にも気軽に行くことができた。大学からソウルへもバス1本で行くことができ、水原にも地下鉄乗り換えなしで行けるため、他の地域にもアクセスしやすい位置にある。 キャンパス内には銀行や郵便局、カフェや博覧会があり、大学付近にも飲食店や娯楽施設があるため非常に便利だった。寮の1階には、コンビニや食堂、カフェ、ジムがあり自由に利用できる。カフェでは、留学生や韓国の友達と話したり、勉強したり便利でよく利用していた。ウンビホールの場合、2人部屋なためルームメイトとよく話し合っ生活していくことが大切だ。ルームメイトは事前に希望調査がとられるので、自分の文化的価値と生活リズムが合う人を選ぶとトラブル</p>

ルは少なくなると考えられる。寮には常に警備員がいて、トラブルにも迅速な対応をしてくれるので安心して生活できる。部屋は広くはないが、机やクローゼット、冷蔵庫、物干しラックなども付いているので不便なく生活できた。6階に住んでいたが、虫や騒音にも特に困らなかった。

学校周辺は遅くまでバスが運航していることもあり、夜遅くまで出歩ける程度に治安が良かった。どの時間帯でもキャンパス内には常に人がいて、学生だけではなく散歩やスポーツをしに来る一般の方も多かった印象がある。学生さんや先生方も優しい方が多く、授業以外の場面でも沢山助けてもらった。学業に熱心な学生さんが多く、考査期間が近づくとカフェや図書館で夜遅くまで勉強している人が沢山いたり、みんな様々な校内外のプログラムに参加していたりと、周囲の人の活動がモチベーションになっていた。学祭では、学校全体が学祭モードで屋台や芸能人のステージがあり大盛況だった。



#### 留学先の文化・習慣の違いを感じたこと

有名な話だが韓国にはパリパリ文化とあって、早さを重視する文化があるので何に関しても早いと感じる部分があった。具体的には、バスに全員乗ったとたんに発車することや、即日発送で届く商品、熱々のまま出てくる韓国料理などがある。慣れてしまえば快適なものとして受け入れられるが、最初は戸惑うかもしれない。しかし、そのおかげで口座開設や保険の手続きなども、簡潔に効率よく終わらせることができて便利だった。そのため留学中は、生活のほとんどをキャッシュレス決済で済ませることが多く、カードや口座送金などを利用していた。

韓国料理は包んで食べたり、混ぜたり、好みに合わせて調味料を加えたりと美味しく食べる方法が決まっている場合が多いので、現地の友達と一緒に食べて学ぶことも文化体験のひとつになると思う。また、みんなで分けて食べることも韓国の文化である。料理の量が多い理由として、日本と違って完食することよりも、お腹いっぱい食べれるようにもてなす文化があることが衝撃だった。頭ではわかっても適応が難しかった。

空気質が悪い日は、人によっては体調に影響を及ぼす場合もあるのでアプリをダウンロードして毎日空気質を確認することをお勧めする。

#### 留学先での健康管理・食生活について：

ウンビホールにはキッチンはないため、食事はほとんど外食していた。共有スペースには、ウォーターサーバーと電子レンジがあるのでお湯やレンジで調理するものであれば、寮内でも自炊することができる。学校周辺には、色んな種類のお店があるので色んな国の料理を楽しむことができる。学校周辺や寮にもカフェ

があったため、ドリンクを頼んで授業を受けたり勉強したりすることが多かった。また、韓国にはカフェが多くあるため、カフェに行き友達と話したり勉強したりと頻りに利用していた。

キャンパスが大きく傾斜があるのと、寮からの距離があるため、生活しているだけである程度の運動はできる。韓国は日本に比べて日照時間が長いので、遅くまで外にすることが多く、放課後に歩いて遊びに出かけることも多かった。

授業内容、課題、試験について：

私は TOPIK 4 級を取得した状態で留学したため、韓国語の授業は上級クラスのものか TOPIK 対策の授業を履修していた。上級クラスとは言っても、どれも留学生向けのものなので、先生方も優しく教えてくださり特に不便なく授業を受けることができた。

発表と討論の授業は、韓国語でのプレゼンテーションの技法を学び実際に発表する機会があった。ライティングと学習韓国語は授業と関連する内容の課題が毎週出される。試験は、TOPIK の 54 番のような自分の意見を含めた作文を書く問題が出た。お願いすれば先生方が添削してくださるので、難しいからといって諦めず挑戦してみることをお勧めしたい。授業のおかげで、ライティングの実力が上がったことを実感できた。

文化比較の授業は、現地の学生と留学生と一緒に受ける講義で、韓国語で自国の文化についてプレゼンテーションをする機会があった。先生が、現地の学生とグループになって遊ぶ機会を設けてくださり、自然と仲良くなることができた。また、他の学生の発表や他国の留学生との交流から学ぶことも多く楽しく授業を受けることができた。グラフィックデザインは、作品や案を毎週提出して先生のフィードバックを受けながら完成させていく方式で進めていた。私はパソコンに illustrator が入っていないので、自分で契約して課題を制作していた。Illustrator の使い方は 2 年次に基礎的なことだけを学んでいたため、技術の応用が難しくほとんどを独学で学習した。友人や先生にも教えてもらいながら課題を制作していたが、最初の頃はひとりで取り組むことも多く苦戦していた。分からない事をそのままにせず、勇気を出して聞いてみることは留学において大切だと感じた。また、先生に作品を通して伝えたいことを、全て韓国語で伝えなければならないため少し苦戦した。試験は、中間期末とも作品を提出して評価を受けるものであった。

韓国の大学の授業は、2 時間～3 時間のものが多く、少ないコマ数でも課題などの影響もありかなり忙しい生活だった。全休の日や空き時間に課題をし、週末は遊びに出掛けられるように調整していた。無理のない履修登録をお勧めする。

一般の授業はすべて韓国語で進められるため、ある程度聞き取りができる状態でなければ難しい。しかし、同じ志を持つ色々な国の学生に出会うことができる貴重な機会でもある。やる気さえあれば、友達や先生方も理解して沢山助けてくださるので、挑戦してみることをお勧めする。ここで培った努力や経験は、絶対に自分の自信になると思う。

学外活動について：

檀国大学には、交換留学生が母国語を現地の学生に教えるチュータリングプログラムがある。クラスは 5 人ひとクラスで構成されており、私は日本語上級クラスの授業を担当していた。毎週の授業内容を決め、どのように進めればいいのかなど想像以上に大変ではあったが、その分気づきや学ぶことも多かった。全て自分一人でこなさなければいけないため、自然と計画性や企画力が身についた。こ

のプログラムを通して、日本語や日本文化を教えながら色んな視野から日本を見ることで、日本への理解が広がった。また、比較などをしながら韓国への理解も深めることができ、貴重な体験ができた。このプログラムは、大学からの寮費援助もあり、現地の学生と仲良くなることができるため参加することを強く勧めたい。

サークルは日本語サークルに入り、色んな人と出会うことができた。一緒に料理をしたり、勉強したり、遊びに出掛けたりと、サークルに入ったことで体験できたことも沢山あった。休日は、美術館や博物館などに行き文化体験をした。

日本から持参するとよいもの：

常備薬がある人は、日本から持参することをお勧めする。その他の薬も、日本から持って行った方が精神的にも安心を得られると思う。

これから紹介するほとんどのものは、韓国にも売っている場合が多いが、日本から持参してきた方が安い場合が多い。まず、万が一の発熱した場合に備えて、体温計や冷えピタ、薬や蒟蒻ゼリーなどがあつたほうが安心だ。また、空気質が悪い日に備えて、花粉やウイルスをブロックするスプレーも持っておくと良いと思う。最後に、ジェルボールをお勧めする。1階の洗濯室まで、洗剤や柔軟剤を持ち運ぶ手間が無くなり時短にもなるため、ジェルボールがあると便利だった。

TOPIKのテキストや単語帳は、日本版の方が解説も理解しやすく良い。

日本の食べ物は、誰にプレゼントしても喜ばれる。持っているだけでも安心すると思うので、味噌汁やカップ麺、ごはんにかけるレトルトはもちろん、気軽に食べれるグミや箱のお菓子を持ってくると良い。持っていきすぎて消費できない場合も、友達に配ることができるので、たくさん持って行って損はない。日本の食べ物が話のネタにも、交友関係のきっかけにもなったりするのでお勧めだ。

夏に行く場合は、冷えグッズや日傘を持参したり、冬に行く場合は防寒グッズを持参したりすると良い。渡韓する日前後の天気をしっかり確認して、持ち物や衣類を適応する必要がある。

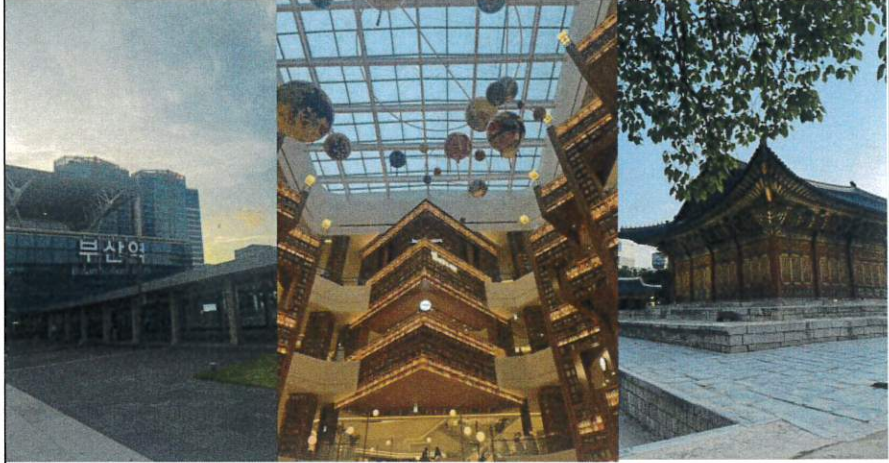
留学を志す後輩へ：

留学は簡単に挑戦できることではないですが、やる気さえあればどんな困難も乗り越えられると思います。頑張り具合によっては、奨学金も得ることができますし、檀国大学のように学校からのプログラム支援が出ているところも多くあり、留学という目標を叶えられる環境は、想像以上に沢山あります。ですから、諦めずに挑戦したい気持ちを大切にしてもらいたいと思います。目標に向かって努力し、新しいことに挑み続ける経験がきっと自分の自信や財産になります。それは、留学準備中や留学中にも、帰国後にも言えることだと思います。常に、挑戦し目標をもつことで、充実した留学生活を送ることができると思います。個人的には、どんな些細なことでもいいので、留学中にやりたいことリスト100を作って行くことをお勧めします。後悔のない留学生活を送る手助けになると思います。

留学は、1人では達成することはできない壁が沢山あります。達成するたびに色んな人に支えられながら、成長することができた貴重な経験でした。また、現地でしか出会えなかった人達との、様々な経験を通して新しい自分に出会うことができます。その経験が、自分の大きな財産になることを確信しています。

留学をしたいという小さな気持ちひとつから始まった留学生活でしたが、ここまで多くのことを学べるとは想像もしていなかったです。私は、諦めずに留学をする決断をして良かったと心の底から思います。もし、留学したい気持ちが少しでもあるのであれば、挑戦してみることをお勧めします。どんな難しい事でも、

あなたのやりたいと思う気持ちひとつで乗り越えることができますし、努力や経験は裏切らないです。応援しています！



※留学の報告書をまとめたものを本学のホームページに掲載します。

以上